

こんにちは いつもお世話になっております

三栄です

おかげさまで第三〇号
発刊となりました！

平成二十一年以来、日頃お世話になっていいるお客様にタイムリーなりサイクル情報発信をしようと考え発刊して以来、隔月発行を続け通算三〇号になりました。今後も引き続き、ご笑読頂きますよう宜しくお願い申し上げます。疑問、質問、環境川柳の投稿など、お客様との交流の場としても活用していきたいと考えております。是非、お電話、FAX、メールとなんでも結構でございますので、お寄せ頂けると編集人としても嬉しく思います。



記念すべき創刊号

第30号

発行元

株式会社
三栄サービス

東村山市
久米川町
1-16-5



IPSuS 0002394

もっと集団資源回収を
盛り上げよう！

（東村山市の行政回収戸別
収集化の影響を考えると）

東村山市では、一〇月一日より行政回収が全て戸別収集化されました。もちろん、古紙・古着といった資源物も戸別収集方式になります。ところが、会員相互のコミュニケーションを図るといふ本来の集団回収の意義を

〇〇会 会員各位

10月1日から、東村山市の行政回収が戸別収集になりますが、自治会の集団資源回収は、これまで通り自治会指定のステーション、拠点にお出ください。

また、集団資源回収の報奨金は、自治会の運営費やイベントの費用に充当されています。古紙(新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック)、古着、アルミ缶は、なるべく〇〇会の集団資源回収にお出ください。ご協力よろしくお願いします。



考え、市としては集団資源回収の戸別収集化は認めない方針です。そう考えると、特にステーションを利用して自治会回収では、玄関前に出せる行政回収に出してしまう会員が増え、集団資源回収の回収量が減ってしまう恐れがあります。一方、東村山市は廃棄物処理基本計画において集団資源回収の推進を謳っており

ます。よって、廃棄物減量等推進審議会において、この点は指摘させて頂いておりましたし、現在も報奨金の増額など何らかの対策を行って頂くよう働きかけを行ってまいります。ですが、団体の皆様に置かれましては、ご近所同士声を掛け合って、なるべく自治会の集団資源回収に資源物を出して頂くよう、ご協力よろしくお願い致します。左上のようなチラシも作成しておりますので、ご活用下さい。

また、ステーションの廃止により、回収拠点の変更や移動などがございましたら、お早目にご連絡ください。また、回収方法の変更や品目の拡大など集団回収を盛り上げるためのご相談もお気軽にご連絡下さい。出来る限り、弊社もご協力させて頂きます。

また、びん・缶の回収が、カゴ回収から袋による混合回収に変更になります。

ますが、集団資源回収におきましては、引き続きアルミ缶のみ選別して出して頂きますようお願いいたします。

今年も中学生の職場体験を受け入れました。

今年も地元中学校の職場体験学習で、四名の元気な中学二年生を受け入れました。資源回収体験、構内選別体験、リサイクル勉強会、名刺交換によるビジネス挨拶体験、紙すき体験など、盛りだくさんの内容で実施し、生徒の皆さんにも楽しく、積極的に取り組んで頂き、リサイクルについても学んでいただいたことと思います。



←こちらは、楽しい紙すき体験中。

名刺交換体験。ちゃんと挨拶出来たかな？→

